

# 第5学年松組 国語「方言と共通語」略案

指導者 赤塚 智哉

1. 日時 平成16年10月20日(水) 校時(10:30~11:15)  
 2. ねらい 方言について興味や関心を持ち、各地に様々な方言があることを知る。  
 3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備 考
10:30	1. 方言についていくつかの例を知る。	1学期の「言葉の研究レポート」で方言を調べた子どもがいることを思い起こさせ、内容を紹介する。		言葉の研究レポート(以前学習した内容)
10:35	2. 学習課題をつかむ。 各地の方言について調べてみよう。			
10:38	3. 各地にどんな方言があるか調べる。	調べ学習に活用できるよう、方言地図などの資料を準備しておく。 調べ学習の範囲が広がりすぎないように、「捨てる」「苦しい」について調べるようにする。 調べ学習が早く終わった子どもは、次の問題場面をお互い方言で表現し合い、感想をもつようにする。 おじいさん：こみを捨てたいんだけど、どこに捨てればいいですか。 駅員さん：そこに捨ててください。 おじいさん：かぜをひいて苦しいのです。鼻水ばかり出るんです。 駅員さん：かぜは苦しいですからね。		方言地図等
10:55	4. 感想を出し合う。	感想を自由に出させる。 方言の良い点(暖かみがある)と問題となる点(異なる地方同士ではコミュニケーションがはかれない)について意見が出た場合は、全体でおさえておく。	感想交流を見た上で、方言の良い点についておさえる。	
11:10	5. センターの先生方の話を聞く。	方言について興味や関心を持ち、各地の様々な方言について調べることができたか。	方言による簡単なニュース原稿を読み、子どもに問題意識をもたせ、次時につなげていく。	